

蒲生干潟の植物51 分布調査

2025年12月16日



調査日 2025年12月16日 (火) 13:30~15:00

主にヨシの分布とクロマツの幼木の生育状況の確認を行った。Fig. 1周辺のヨシは大きく成長した草体の群落になっている。防潮堤付近では2mをゆうに超える大きさである。Fig. 2周辺では丈の低いヨシがまばらに広がっており、2024年12月の調査以降に新たに成長してきた範囲であると分かる。Fig. 3は潟湖北端付近であり、Fig. 3の地点がヨシの分布の北端部分でもある。高さは1.8mほどまで成長している。Fig. 4は潟湖東側の汀線沿いの様子である。2024年12月の調査では小さな群落がいくつか見られたが、現在は潟湖汀線に沿って広がる1つの大きな群落になっている。Fig. 5のクロマツは現在見られる最も小さな幼木で高さは0.3mほどである。Fig. 6のクロマツは最も大きく1.8m、幅は2.5mほどに成長している。このクロマツは2021年の調査で初確認され、2024年11月時点で1.5mほどであったと記録されており順調に成長している。Fig. 7周辺はオオマツヨイグサやコマツヨイグサ、メマツヨイグサが生育している範囲である。特にオオマツヨイグサについては昨年度の調査では確認されておらず、今年度移入してきた可能性が高いと考えられる。今後の広がりを注視していきたい。

(伊藤勝彦)